

岡崎 乾二郎

林 道郎

木下 画之

高階 秀爾

シンポジウム 「宇佐美圭司 《きずな》から 出発して」

2018年9月28日[金] 10:00-17:00 (9:30開場)

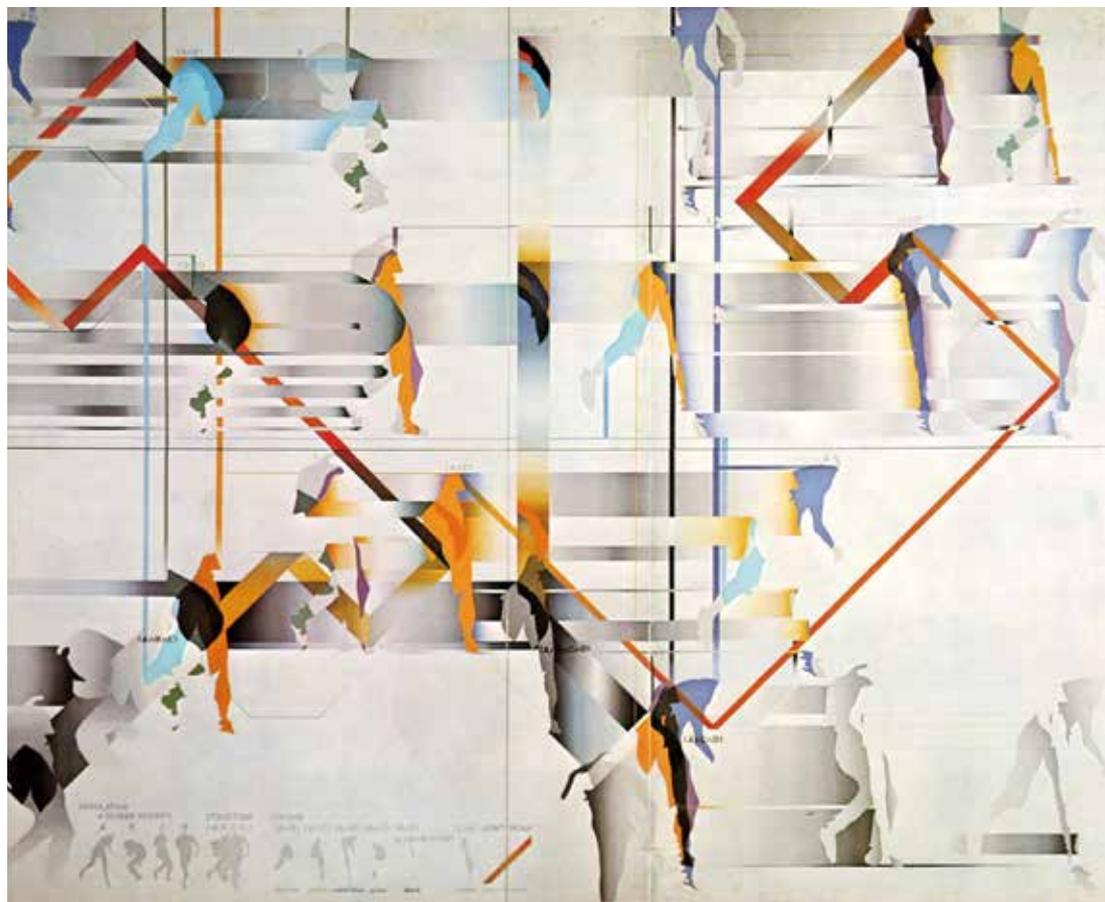
東京大学本郷キャンパス 大講堂 (安田講堂)

主催 | 東京大学

参加ご希望の方は専用ウェブサイトより事前申込をお願いいたします。(締切:9月27日(木)12:00)
<https://goo.gl/forms/cRssms92Cf15ywFB3>



本シンポジウムは、東京大学本郷キャンパス中央食堂の壁面に展示されていた宇佐美圭司氏の絵画作品《きずな》(一九七七年)が改修工事の過程において廃棄処分されたことを踏まえ、東京大学の研究者が中心となって、《きずな》及び宇佐美氏が活躍した戦後日本美術史、さらに、東京大学の内外における文化資源について考察するものです。本シンポジウムは、宇佐美氏の作品について考察し、その芸術的価値を再確認すると同時に、学内に存在する文化資源に対する認識を高める機会になればと考えています。



宇佐美圭司《きずな》1977年
(部分、「事業あんない」(大学生協東京事業連合、1977年)より転載)

小林 真理

佐藤 康宏

輝 高岸

加治屋 健司

鈴木 泉

三浦 篤

宇佐美圭司《きずな》について

東京大学と文化資源